

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2013.11.No195

11月号

## 目次

地域貢献活動センターを活用しよう……1
技術ノート……………2
道士会の動き……………4
実行委員会報告……………5 [情報・まちづくり・被災地応急支援特別]
青年・女性の窓……………6 [青年委員会]
支部だより……………7 [宗谷・余市・後志]
information……………8

URL <http://www.h-ab.com/>

## 地域貢献活動センターを活用しよう

地域貢献活動センター委員会 委員長 佐藤 芳 則 (苫小牧支部)

### 地域貢献活動センターの助成事業

平成21年6月、それまでの「まちづくり活動奨励制度事業」を引継いで、地域の住民と建築士が進める地域づくり、まちづくり活動を行うグループ、又は行おうとしているグループに対し、活動費の助成やまちづくりの情報及び技術の提供を支援していくことを目的として「北海道建築士会地域貢献活動センター」が設立されました。

これまでの5年間に17事業の応募が有り14事業に対して助成して参りました。

### 地域貢献活動が目指すもの

住民の方々が主体となって進められる地域づくりでの専門家との協働作業に於いて、その地域で活動する建築士の役割は大変大きなものがあります。

私たちが提起した「地域貢献活動」とは、この住民主体の地域づくりと建築士を結びつける活動を念頭に置いております。

具体的には、営利を目的とせず、かつ活動を行うことによって団体内部だけでなく、特定地域や周辺地域に実施効果が有ると認められる次の活動を指しています。

- ① 歴史的資産の保全・再生・活用に関する活動
- ② 景観の保全・再生に関する活動
- ③ 居住空間の保全・整備に関する活動
- ④ 自然環境の保全・整備に関する活動
- ⑤ 福祉環境整備に関する活動
- ⑥ 防災活動や防災施設の整備
- ⑦ 子供の住教育やまちづくり教育に関する活動
- ⑧ 建築やまちづくりによる地域活性化に関する活動
- ⑨ その他、活動センターが地域貢献活動と認める活動

地域貢献活動は定型的なものではありません。

皆さんにふさわしい『地域貢献活動』を提案していただければ幸いです。

年度	申請団体	事業名
平成21年	札幌支部青年委員会	みんなのまちの美観を考える「これからのゴミステーション」
	NPO小樽ワークス	坂牛邸復元計画プロジェクト
	忠類再発見サポートディスカバリー	地域の魅力の発掘、再発見と活動サポート
	根室支部	「和田屯田被服庫」保存の為の調査
	NPO法人 伝成館まちづくり協議会	歴史建物の保存と活用による地域拠点づくり
特定非営利活動法人 イッシュ移住オホーツク	古い建築物の所有者に保全活用の意識啓発を促す資料作成	
平成22年	下川町エコハウス推進地域協議会	森林を核とした循環型のまちを目指す
	NPO小樽ワークス	坂牛邸復元計画プロジェクト
	忠類再発見サポートディスカバリー	地域の魅力の発掘、再発見と活動サポート
平成23年	札幌支部青年委員会	みんなで作る景観まちづくり「地域の安全・安心はゴミステーションから始まる」
	忠類再発見サポートディスカバリー	地域の魅力の発掘、再発見と活動サポート
	後志支部技術委員会	俱知安型住宅研究会
平成24年	桧山支部	江差景観環境形成ワークショップ
平成25年	宗谷支部	宗谷管内の小学生による絵画コンクール「ぼくの・わたしのこころ」

11月号会誌は、連合会会誌「建築士」11月号の発刊が遅れたため11月2日(土)の送付となりました。

# 窯業系外装材における亀裂損傷と防火性能の関係

地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所  
 総務部性能評価課性能評価グループ 主査（評価第二） 入江 雄 司

## 1. はじめに

建築基準法では、建築物や建築計画において火災に対する安全性を確保するためのさまざまな規定がある。防火規定の中で、一般住宅にとって関連の深いものが防火性能である。防火性能（防火構造）について、建築基準法では以下のように規定されている。

準防火地域内の建築物（法第62条）

1. 省略
2. 準防火地域内にある木造建築物等は、その外壁及び軒裏で延焼のおそれのある部分を防火構造とし、これに附属する高さ2メートルを超える門又は扉で当該門又は扉が建築物の1階であるとした場合に延焼のおそれのある部分に該当する部分を不燃材料で造り、又はおこななければならない。

防火性能（防火構造）の具体的な内容については、基準法施行令によって、以下のように決められている。

防火性能に関する技術的基準（施行令第108条）

法第2条第8号の政令で定める技術的基準は、次に掲げるものとする。

- 一、耐力壁である外壁にあつては、これに建築物の周囲において発生する通常の火災による火熱が加えられた場合に、加熱開始後30分間構造耐力上支障のある変形、溶融、破壊その他の損傷を生じないものであること。（非損傷性）
- 二、外壁及び軒裏にあつては、これらに建築物の周囲において発生する通常の火災による火熱が加えられた場合に、加熱開始後30分間当該加熱面以外の面（屋内に面するものに限る。）の温度が可燃物燃焼温度以上に上昇しないものであること。（遮熱性、遮炎性）

以上の性能は、住宅の新築時のみに満足すればよいというものではなく、住宅が建っている間は常にこの性能が求められていると考えられる。しかし、住宅の外壁は、気温の変化や風雪、凍結融解等により、外壁面にさまざまな損傷を生じることが予想される。外壁の防火性能は、建築基準法に定められた性能を有することを求められるため、住宅の長寿命化が求められる現在、外壁の損傷により防火性能にどのような変化を生じるかを検証する必要がある。

住宅外壁における防火性能と外壁面の損傷状況との関係を検討するための基礎資料を得ることを目的とし、住宅外壁に生じることが想定される損傷を与えた後、加熱試験により防火性能がどのように変化するか検証した。

## 2. 住宅外壁の防火性能の検証方法

前述した防火性能に求められる要件（非損傷性、遮熱性、遮炎性）を検証するための標準的方法として、耐火炉を用いた防火試験が用いられる。これは、対象となる外壁の構成を再現した試験体の屋外側に火災を想定した所定の加熱を与え、30分間構造耐力を維持できるか（非損傷性、耐力壁の場合）、屋内側に火災を拡大させないかどうか（遮熱性、遮炎性）を実験的に検証する方法（载荷加熱試験、加熱試験）である。火災を想定した加熱には、国際規

格で決められている標準加熱曲線が用いられる。耐力壁の場合は、加熱中、試験体の軸方向（加重支持部材）に長期応力に相当する荷重を加えて試験を行う。

30分の防火試験において、以下の規定値を満足した場合に、防火性能を有すると判断される。

- 遮熱性：試験体の裏面温度（非加熱側の表面温度。一般的には内装材の表面温度と考えてよい。）上昇値が平均値で140K以下、最高値が180K以下であること。
- 遮炎性：非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がないこと。  
非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がないこと。  
火炎が通る亀裂等の損傷を生じないこと。
- 非損傷性：試験体の最大軸方向収縮量および最大軸方向収縮速度が、次のとおりであること。
  - ・最大軸方向収縮量（mm） $\leq h/100$
  - ・最大軸方向収縮速度（mm/分） $\leq 3h/1000$
 h：試験体の初期高さ（mm）

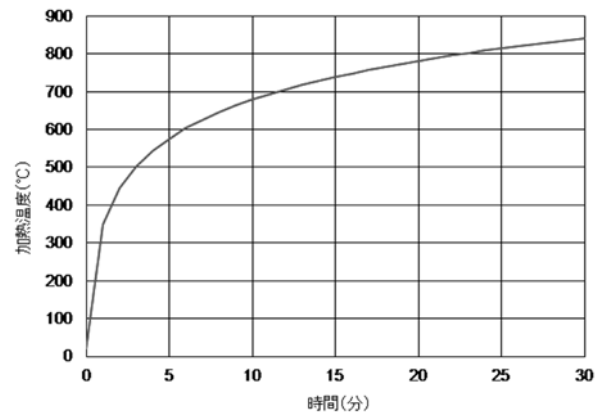


図1 ISO標準加熱曲線

## 3. 外装材に亀裂を与えた外壁の防火性能の検証実験 (1) 実験の概要

外装材として窯業系サイディングを対象とし、外壁面に生じる損傷として亀裂を想定した外傷を設定し、外壁の防火性能に与える影響について検討した。サイディングには、防火試験で窯業系サイディングの代表として用いられる木繊維混入セメントけい酸カルシウム板(厚さ15mm)を使用した。亀裂として、長さ100mm及び200mm、幅2mm及び10mm、深さ5mmを設定し、亀裂のない場合との比較を行った。

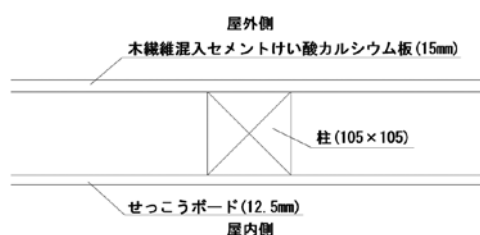


図2 試験体の構成



写真1 亀裂の設定例

## (2) 実験装置と実験方法

実験装置として、小型加熱装置（写真2）と大型耐火炉（写真3）を用いた。小型加熱装置で、前項に示した数種類の亀裂についての実験を行い、防火性能に影響を及ぼす可能性のある亀裂形状について、大型耐火炉による検証を行った。



写真2 小型加熱装置



写真3 大型耐火炉

## (3) 実験結果

### 1) 小型加熱装置による実験結果

図3に亀裂を設けない場合の温度測定結果、図4に亀裂の形状が長さ100mm、幅2mmの場合の測定結果を示す。亀裂を設けた場合の方が、内装材の裏面温度が規定値を超えた時間が早く、試験終了時の外装材の裏面温度も約30℃高かった。このように、亀裂を設けた場合に外装材の熱の通しやすさ、内装材を含めた防火時間の双方で、防火性能が低下する結果となった。

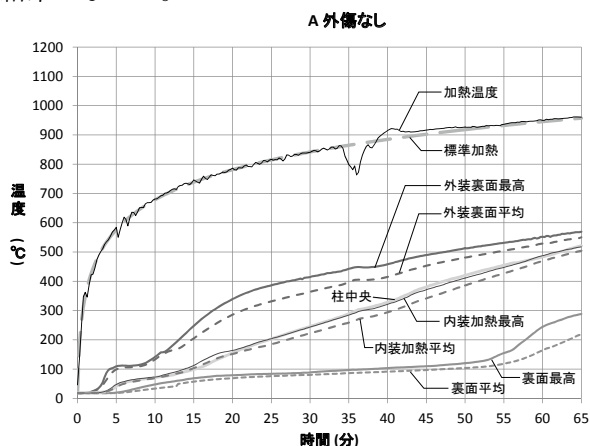


図3 亀裂を設けない場合の測定結果

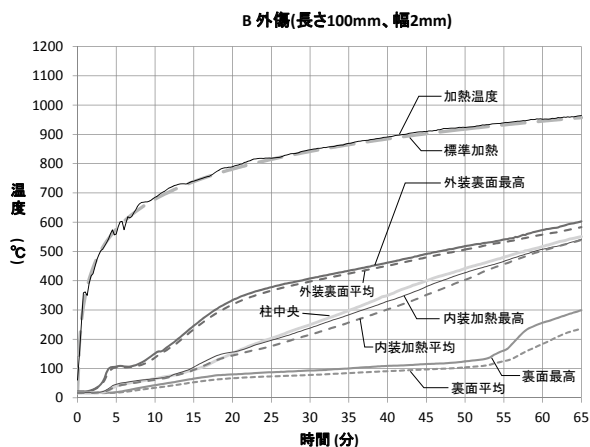


図4 亀裂長さ100mm、幅2mmの場合の測定結果

### 2) 大型耐火炉による実験結果

小型試験の結果、防火性能に対して影響があると考えられた亀裂について、実大規模の実験によって検証を行った。



写真4 実大規模の試験体

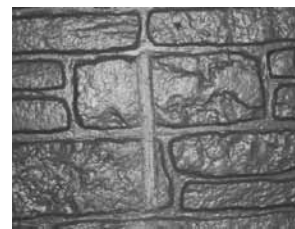


写真5 亀裂の状況

図5、6に各試験体の温度測定結果を示す。加熱開始から35分以降で、亀裂を与えた方の各部の温度が与えない方を上回っている。加熱開始後37分に、亀裂を与えた方の外装材が脱落しかかる状況となり、内装材裏面温度が亀裂を与えない方を大きく上回るようになっていく。この結果、亀裂を与えた方の内装材裏面温度は与えない方より3分ほど早く規定値を超え、実験終了時の温度は最高で400℃、平均で200℃亀裂を与えない方より高い結果となった。

外装材の亀裂の有無による防火性能の差はわずかであるが、亀裂を設定した方が外装材の部分的な変形・脱落を早期に生じ、壁全体の防火性能の低下につながったと考えられる。

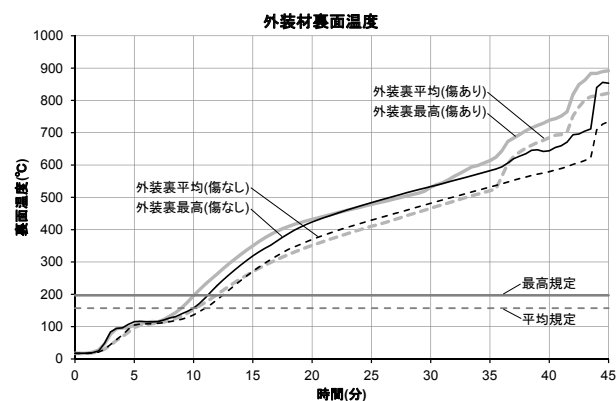


図5 外装材裏面温度の測定結果

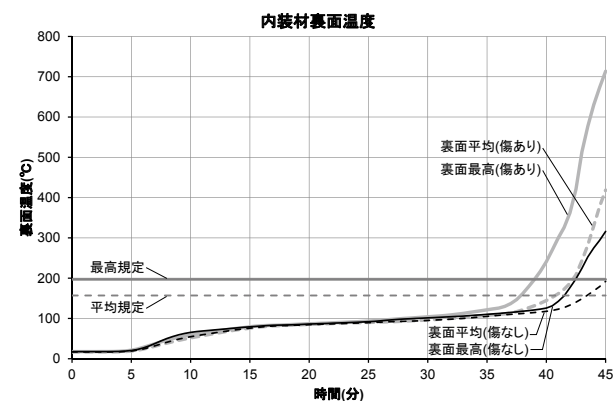


図6 内装材裏面温度の測定結果

## 4. まとめ

外装材に亀裂を設けた場合の防火性能に対する影響について検証実験を行った。今回の実験の範囲では、防火性能に与える影響はそれほど大きくはないが、わずかであっても性能を低下させる可能性があることが示された。今後、住宅の長寿命化を考えると、外装材の適切な補修や交換等により、長期間の性能の維持を図ることが重要であると考えられる。

●自習型認定研修の設問はP8に記載してあります。



## 表彰関係

- ◆10月19日開催の第56回建築士会全国大会（しまね大会）、また9月20日、21日開催の第38回全道大会（恵庭大会）の式典において、今年の日建連会長表彰者、北海道建築士会会長表彰者の表彰式がそれぞれ執り行われ、賞状が授与されました。  
 永年にわたり、本会の役員として、会の発展に功績して下さった表彰者の皆様をご紹介します。

### 【(公社)日本建築士会連合会会長表彰者】

(敬称略)

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
札幌	吉木 隆	北広島	関川 修二	函館	渡辺 友子
留萌	安田 国雄	旭川	宮原 進	北見	矢萩 寛行

### 【(一社)北海道建築士会会長表彰者】

(敬称略)

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
札幌	宮本 忠明	函館	山下 好一	旭川	米本 一恵
札幌	野村 篤	函館	向山 良治	十勝	橋内 伸幸
札幌	江岸真由美	檜山	瀬川 悟	十勝	片桐 幾子
札幌	森田ゆう子	小樽	武藤 義光	中標津	山岸 英一
札幌	前川原敏峰	小樽	工藤 哲也	網走	山口 秀夫
札幌	小林 敏道	室蘭	中田 孔幸	北見	小林やよい
恵庭	北澤 征夫	室蘭	高橋 芳朗	北見	吉村 良平
恵庭	石塚 隆幸	空知	小田 朋弘	美幌	伊藤慶三郎
北広島	佐藤 和範	北空知	小川 広見	紋別	宇野 安久
石狩	家守 寛	旭川	高嶋 信行	宗谷	沖野 正幸
函館	川嶋 紀夫	旭川	川里 信治		

受賞おめでとうございます。

## 道本部の主な会議報告

### ◆第3回被災地応急支援特別委員会

(開催日) 10月5日(土)

- 1) 平成26年事業計画について
- 2) ネットワークとマニュアルについて
- 3) 委員会構成について

### ◆第5回地域貢献活動センター委員会

(開催日) 10月8日(火)

- 1) 空知支部(滝川分会)申請の活動助成について
- 2) ホームページについて
- 3) 基金助成申請書について

### ◆第4回事業委員会

(開催日) 10月26日(土)

- 1) 建築技術講習会について
- 2) 平成26年度事業計画案及び予算案について
- 3) 実行委員の改選について

## 道本部の主な行事予定 (11月)

- 9日 第4回情報委員会  
 16日 第4回女性委員会  
 16日 第2回青年委員会WEB会議  
 23日 第4回総務委員会

## 関係機関等会議出席状況 (11月)

- 6日 専攻建築士認定評議会 (東京)

高野会長出席

## ～ 税務署からのお知らせ ～

### 平成26年1月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

事業所得、不動産所得等を有する方に対する記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から対象となる方が拡大されます。

### 平成26年1月からの記帳・帳簿等保存制度

#### ◎ 対象となる方

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。  
 ※ 所得税の申告の必要がない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

#### ◎ 記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れやその他の必要経費に関する事項を帳簿に記載します。

記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額のみをまとめて記載するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

#### ◎ 帳簿等の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

#### 【帳簿書類の保存期間】

保存が必要なもの		保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿(法定帳簿)	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿(任意帳簿)	5年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

### 記帳・帳簿等の保存制度の詳細に関するご案内

国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) の「個人で事業を行っている方の帳簿の記載・記録の保存について」をご覧ください。最寄りの税務署までお問い合わせください。



## 情報委員会 事業経過報告



副委員長  
天城 秀典 (釧路支部)

本年度、8月迄に3回の委員会を開催し、以下の事業内容を検討し進めてきました。

1. 本誌『北海道建築士』について
2. ホームページについて
3. 全道大会について

本誌『北海道建築士』については、昨年よりスタートした会員作品の紹介は会誌10月号及びHPに掲載済みですが、応募も少なく予定より募集時間を掛けての掲載となりましたが、会誌やHPに載せる為の選定基準等を文書化する事が必要となって来たようです。

11月号のトピックは地域貢献活動センターについてです。(本号)12月号は読者の声を募集する予定です。平成26年度の1月号はトピック：会長新年挨拶、特集：資格制度に関する座談会。2月号はトピック：女性委員会(住教育実践業務)、特集：高校生デザインコンクールの予定です。

ホームページについては、『会員増強1割アップ運動』用のパンフレットを掲載する予定です。

委員会のページはリニューアルを引き続き進め組織図等、現状に合わない物は更新して行きます。

全道大会については、12月号にカラーページを使い掲載の予定です。

年間スケジュールも終盤ですが、今年の紙面は一般社団法人のスタートに始まり、ブロック会の結成等、名称や運営方法等が替わり伝える事が多い紙面構成になっているようですが、これからも分かり易く正確な情報をお伝え出来るように努力して行きたいと思えます。

## まちづくり委員会



委員長  
本吉 定 (札幌支部)

今年度の事業計画で「地域におけるまちづくり活動の推進」を掲げています。

8月3日第3回まちづくりフォーラムin滝川を滝川にて「たきまち会議」をテーマに、支部主催の「ちびっこ建築士」建物の模型づくりを一緒に体験し、セミナーでは滝川支部参加の「ランタンフェスティバル」身の丈に合った地域活動を積極的に行い14,000個のランタンを灯すイベントの発表を聞き観光客を呼ぶのではなく、自分達と市民が楽しむ地域貢献をお聞きしました。

たきかわイエロープロジェクトは、132haに菜の花を咲かせるイベントを開催し、生みの苦しみが有り今に至っている経緯をお聞きし新しい地域貢献の手法を学びました。

滝川市教育委員会社会教育課の「青年交流プラザ事業」は、「まちづくり仲間」・「友達づくり」・「つながりづくり」を課題に人材育成の行っている経過をお聞きして、まちづくりは人づくりからを改めて実感してセミナーが成功裏に終了致しました。



まちづくりセミナー in滝川



ちびっこ建築士

## 被災地応急支援特別委員会

### 応急危険度 判定訓練



委員  
三嶋 克昭 (日高支部)

地震が発生した際に、2次災害を防ぐため建築物の安全状況についての緊急調査となる『応急危険度判定』の模擬訓練が今年、旭川市函館市で実施され委員として参加しました。当日は定員80名の所、行政職員、民間建築士、多数の参加者がありました。地元メディアの取材も多数来ており、翌日早朝のTVニュースでは訓練の様子が放映され、本訓練に対する関心の高さが伺えました。

参加者の中には、仙台市在住で御自身も震災に合いながら、5ヶ月間、福島で判定活動を行っていた方がおり『現場での活動時間は限られています！1件のタイムリミットは10分です！』の言葉を合図に判定訓練を行いました。前年度の判定訓練を思い出しながらの作業で時間オーバーでした。

判定のスピードや技術、基準を統一するためにも、『過去に参加経験が有るから、同じ訓練だから参加しない』という事ではなく、定期的に同じ訓練を積み重ねていくからこそ意味があるのだ、と痛感しました。平成26年度は私の地元、日高で『震災建築物応急危険度判定訓練』が実施される予定です。

**迅速・的確な支援をおこなうことができる体制の確保、**にむけ、まずは、地元の体制の強化、特に、建築士会と町との防災に関する協定の締結を実現させたいです。

～自然災害は免れません。起きてはほしくない大規模地震。明日かもしれない。事前準備は大丈夫でしょうか？

さあ、人命を守るために建築士としてお役に立ちましょう！～

## 青年委員会

### 建築士会周知と会員増強活動

副委員長

齋藤 勝哉

会員の減少が進んでいく昨今、我々青年委員会でも会員の増強に力を入れています。

3月初旬に全国青年委員長会議が東京で開催されました。文字通り全国の青年委員長が一堂に会して「どうしたら建築士会を盛り上げられるか」の題に、時に実例を紹介したり、時に笑いながら、そして真剣に話し合ってきました。全国的に会員の減少は共通の悩みではありますが、他県では会員増強に大変高い成果をあげている事例もありました。特に香川県建築士会では

- ① 建築士免許授与式
- ② セミナー
- ③ 祝賀会

を一連の流れで開催し、勧誘の機会づくりから入会まで結びつける事で多数の入会者を獲得することができたようです。このほかにも素晴らしい成果をあげている事例もあり、このような情報を共有し活用することで北海道の会員増強につなげていきたいと思えます。

3月下旬に行われた全道青年委員会連絡会議の中で、討論会として先の全国青年委員長会議と同題の会員増強ワークショップを行い、意見交換をしました。ここで出た意見を持ち帰って支部の活動へ活用することとしておりました。

これについては先日、各支部の青年委員長・部長にアンケートの協力をお願いし、20の支部からの回答がありました。

このアンケートの集計によると、全ての支部で規模の大小にかかわらず様々な会員増強活動が行われていることがわかりました。そして、お願いしていた「建築士会の周知」についての強い意志を持っていることを感じました。と

同時に、まだまだ一般的な認知度・知名度は低いと感じている意見もありました。なお、この結果は全国大会の青年担当交流セッションでも報告されています。

こういった背景を踏まえ、我々青年委員会では建築士(会)の周知と会員増強を図るべく活動しています。

その一環として、6/22・23の2日間に渡って新さっぽろサンピアザにて「建築士の日イベント」が行われました。詳しい内容は会誌No.193にて詳しく報告されていますのでここでは省略させていただきますが、このイベントの中の会話で、たくさんの意見や感想をいただきました。中でも、「建築士ってどんなことをするのですか?」「どうしたら建築士になれますか?」といった声も聞こえました。この時対応したスタッフにて熱心に説明していたのがとても印象に残っています。

800名を超える参加をいただいたイベントでしたが、カウントしていたのは手を動かしてもらった子供たち中心の数で、これには保護者の数はカウントされていません。「建築士会ってなんですか?」との質問から少々の会話をしたのみという人も結構おられたので、実際に対象となるのは数倍になるのではないかと思います。

また、会場内のパネル展では通りすがりに足を止めて熱心に見ている姿も数多く見られました。大規模の商業施設の中という事もあってか前年までの地下歩行空間とは全く違う雰囲気だったように感じました。これらのことから、このイベント本来の目的である建築士会の周知については大きな成果があったのではないかと考えています。

今後はもっと裾野を広げるような活動が増えてほしいと思います。願わくば、前述のイベントを各地で展開できればとは思いますが、なかなかマンパワーも必要な

ことなので難しいかもしれません。ですが、このイベントに協力いただいた各支部での企画、

札幌支部

お家の間取りを考えよう

旭川支部

ブロック玩具でまちづくり

釧路支部

折り紙建築

日高支部

理想のお家を描いてみよう

これらのノウハウや道具等は提供・貸し出しいたします。子供向けの企画をしたいときなどにはぜひ活用してみてください。意外と大人が熱中してしまうような企画もあります。使ってみたいという方は青年委員会まで連絡いただけますと対応致します。

最後に、こういった団体での活動は大変重要ではありますが、どうしても活動が業界向け中心になってしまいがちに感じます。一般的な知名度を上げるためにも、もっと地道な草の根的な活動が必要なのではないでしょうか。

これについては、非常に便利なツールを我々は長年使用してきました。それは戦略的に安価にそして違和感なく告知できます。さらにとても都合の良い時期です。

これを読んだ皆様に

お願いします。

皆様の出す年賀状の名前の横に

『北海道建築士会会員』

と入れて下さい。

建築士会の文字が目に触れる機会の増えることを切に願います。



## 宗谷支部

日本のでっぺんでみよう！  
メイキング・オブ・  
東京スカイツリー展

支部長

岸 義雄



60周年記念事業として9月9日～15日まで「日本のでっぺんでみよう！メイキング・オブ・東京スカイツリー展」を開催しました。

「子供達にもものづくりの楽しさを伝える」ことを目的に、日本科学未来館の巡回展と、写真パネル、模型を展示しました。



「劇場版 東京スカイツリー 世界一のひみつ」も上映し、市内の小学生に鑑賞して頂きました。

土日は、ものづくり体験も開催。お菓子やつみきなどでスカイツリーをつくってもらいました。

お菓子は大人気でした。



つみきは、こっばをペーパー掛けした手づくりです。「木のおいがするね」と好評で、最期はすべて持ち帰りとなりました。

本事業は北海道の「地域づくり推進事業」補助と、稚内建設協会などからの協賛金で実現しました。

協力頂いた皆様と、実行委員会にお礼を申し上げます。

## 余市支部

支部について

事務局員

芳川 文俊



余市支部の歩みは、昭和30年6月に後志管内の余市町と仁木町を一円とした、北海道建築士会余市地区として発足しました。昭和37年6月に余市支部に改名されて、現在に至っております。

地区は5地区に分かれており、正会員は、大川地区5名、黒川地区6名、入舟地区6名、沢町地区5名、仁木地区3名の25名で、賛助会員7名を含め32名の道内でも有数の零細支部です。

会員数は、毎年のように減少傾向にあります。

原因としては、余市町及び仁木町で、建築関連の仕事に従事している若者が少ないこと等が挙げられますが、これからも粘り強く会員数増加に向けて頑張りたいと思います。

当支部の主な活動は、支部総会から始まり、各会議及び事業への参加です。

今年は、9月に恵庭市で開催された、全道大会に仕事の都合で、残念ながら1名も参加することが出来ませんでした。

来年は、9月に旭川市で全道大会が開催される予定ですので、1名でも多く参加し、少しでも大会を盛り上げるお手伝いが出来たらと思います。また、当支部の活動の中心である青年委員会についてですが、道央ブロックに所属しております。各支部との情報交換やコミュニケーションの輪を広げております。

当支部は、これからも、青年委員会を中心として、少人数ですが、地域に根ざした建築士活動を行っていきたいと思います。

## 後志支部

支部の現状と  
これから

青年委員長

瀬尾 正宣



後志支部は倶知安町を中心に、羊蹄山麓七町村で構成されております。

私が入会したのが15年前、札幌から地元倶知安に戻り家業を手伝い始めたのがきっかけでした。

その頃は、会員数もそれなりにいましたし、年齢も気になりませんでした。新規入会者も少なく15年の年月はみんなをオヤジ化させました。

そんなわけで現在、青年委員が少ないので活動に支障がきたしております。

道士会の青年委員会の活動方針として『1 地域貢献 2 スキルアップ 3 仲間づくり』とありますが、当支部青年委員会の活動方針は1に仲間づくり、次にスキルアップ、最後に地域貢献(笑)です。(順番を変えただけです)

まず青年が楽しめる活動。為になるセミナーなど他支部の行事等も参考にしながら企画し、『会員増強』に努めたいと思います。

また他支部からの電撃移籍も歓迎しますので。(笑)

後志支部青年委員会、近況報告でした。

現在行っている活動の紹介

『Facebook』ページを作成中。

『エコな住宅セミナー』3回に分けて開催しました。

『後志空き家バンク』委託業務『くっちゃん型住宅研究会』委員として10名ほど参加。

## CPD認定プログラム（10月認定）

### ◆耐震改修促進法改正説明会

《日程及び会場》 11月6日(水) 14:00~15:30  
旭川市障害者福祉センター おびつた  
(旭川市)  
11月13日(水) 14:00~15:30  
サン・リフレ函館(函館市)  
《単位数》 各2単位  
《問合せ先》 旭川会場:旭川市建築指導課  
TEL 0166-25-8597  
函館会場:函館市建築行政課  
TEL 0138-21-3391

### ◆BIMに関する勉強会

《日程及び会場》 11月21日(木) 14:00~17:30  
かでの2.7(札幌市)  
《単位数》 3単位  
《問合せ先》 (一社)北海道建築士会札幌支部  
TEL 011-232-1843

### ◆第1回設備セミナー「せつび」ってなんだ?

《日程及び会場》 11月20日(水) 19:00~21:00  
かでの2.7(札幌市)  
《単位数》 2単位  
《問合せ先》 (一社)北海道建築士会札幌支部  
TEL 011-232-1843

### ◆BIS更新講習・住宅省エネルギー技術講習会(設計者向け)

《日程及び会場》 12月10日(火) 9:30~17:00  
道北地域旭川地場産業振興センター  
(旭川市)他4会場  
《単位数》 5単位  
《問合せ先》 (一社)北海道建築技術協会  
TEL 011-251-2794  
<http://www.hobe.or.jp/>

### ◆平成25年度建築確認における構造審査円滑化のための講習会

《日程及び会場》 11月28日(木) 13:30~18:00  
かでの2.7(札幌市)  
《単位数》 午前2単位、午後2単位  
《問合せ先》 北方建築総合研究所構造計算適合判定センター  
TEL 011-204-5362

### ◆平成25年度工事現場見学会(建築)

(参加対象者:札幌建設業協会会員)  
《日程及び会場》 11月18日(月) 13:30~16:30  
南郷小学校改築工事(札幌市)  
《単位数》 3単位  
《問合せ先》 (一社)札幌建設業協会  
TEL 011-261-6182

### ◆「住宅の地域らしい長寿命化への取り組み」講習会

《日程及び会場》 11月17日(日) 10:00~12:00  
伝成館(中標津町)  
《単位数》 2単位  
《問合せ先》 (一社)北海道建築士会中標津支部  
TEL 0153-75-2111

### ◆地域の魅力づくりセミナー「地域の宝を育てよう」

《日程及び会場》 11月9日(土) 16:00~18:00  
ニセコ町民センター(ニセコ町)  
《単位数》 2単位  
《問合せ先》 北海道後志総合振興局建設指導課  
TEL 0136-23-1371



## 会誌「北海道建築士」 CPD単位登録のご案内

CPD自習型認定研修の設問は、下記の手順でCPD単位登録を行ってください。

- ①CPD情報システムにログインをします。
- ②士会用メニューより「認定教材研修申請」を押します。
- ③CPD番号、氏名を確認し、必要欄を入力します。
- ④プルダウンメニューから「北海道建築士」を選択します。
- ⑤設問への解答を選択します。
- ⑥入力後、「次へ」を押します。
- ⑦確認画面より「申請する」を押し、完了です。

注) 不正解の場合は登録できません。

### CPD 自習型認定研修の設問

P2-P3 技術ノート

(営業系外装材における亀裂損傷と  
防火性能の関係)

北海道建築士 No.195

2013/11/ 1 単位: 1

設問 住宅の防火性能に関する次の記述のうち、適切なものはどれか。

- a. 住宅の外壁の防火性能は、非損傷性、遮熱性、遮炎性のいずれかひとつを満足すればよい。
- b. 住宅の外壁の防火性能は、国際規格で定められた加熱試験や載荷加熱試験によって検証される。
- c. 住宅の外壁の防火性能は、新築時に所定の性能を備えていけばよい。

※不正解の場合は、単位に登録できない場合があります。



### 図書案内



資産価値の高い建築を提供するための  
ポイントと解説

- ◎第56回建築技術講習会テキスト
- ◎A4判:88頁 ◎定価:2,625円
- ◎発行:2013年2月  
(一社)北海道建築士会

## 編集後記

記録的な・・・から始まる気象の変化の大きさを感じるこの頃ですが、私たち建築士は新しい建物ばかりでなく、役目を終えた建築物の解体や古く成った建物の再生等、時の経過による変化を建築物を通して実感する事が出来ます。本号でも地域活動での歴史的資産の保全・再生、技術ノートは風雪等による経年変化の検証、『窓』や『たより』では会員減少という変化にご苦勞されているんですね。 情報委員会 天城 秀典

情報委員会委員長/岡田 隆  
副委員長/三浦 浩・天城 秀典・神田 光英  
委員/森田ゆう子・岡田 光弘・山下 聡  
用田 史門・高松 徹・道塚 勉

北海道建築士 No.195号

印刷 平成25年10月/発行 平成25年11月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011)251-6076番  
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011)811-7151番